2027(令和９)年度春季（４月)入学

入学試験要項

看護学研究科／看護学専攻　博士前期課程（修士課程）

看護学研究科／看護学専攻　博士後期課程

■一般入学試験

■社会人入学試験

THE INTERNATIONAL UNIVERSITY OF KAGOSHIMA,
GRADUATE SCHOOL

鹿児島国際大学大学院
看護学研究科

【令和9年4月開設】

鹿児島国際大学大学院　アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

看護学研究科の目的

看護学研究科は、看護学に関する深い学識及び卓越した能力を養うとともに、それに基づいて高度に専門的な業務に携わるための高度の研究能力を持つ優秀な人材の育成を主目的とし、看護学に関する研究者として自立した研究活動を行う能力と豊かな学識を持つ者の養成も併せて目的としています。

博士前期課程

博士前期課程の目的

博士前期課程では、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力または、高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的としています。

看護学研究科博士前期課程は、目的、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、本大学院の教育を受けるのに必要な知識を有し、向上心を持った次のような人を国内外から受け入れます。

（知識・技能）

M.AP1 看護学を探究するために必要な基礎学力、科学的思考能力を有する人

M.AP2 生命を尊重し、倫理的な感受性を有する人

（思考・判断力・表現力）

M.AP3 自身の考えを表現し、他者と協働するコミュニケーション能力を有する人

（関心・意欲・態度）

M.AP4 論理的かつ柔軟に看護について探究できる人

M.AP5 優れた専門職業人・教育者として、地域社会や看護学の発展に貢献する意欲のある人

選抜方法	出願書類	筆記試験	面接試験
選抜方法に対するアドミッション・ポリシー番号	M.AP1・2	M.AP2・3・4	M.AP3・4・5
一般入学試験	○	○	○
社会人入学試験	○	○	○

博士後期課程

博士後期課程の目的

博士後期課程では、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

看護学研究科博士後期課程は、目的、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、本大学院の教育を受けるのに必要な知識を有し、向上心を持った次のような人を国内外から受け入れます。

（知識・技能）

D.AP1 看護研究の特徴や研究手法について理解し、看護研究を実施する基本的能力を有する人

D.AP2 看護教育及び看護実践において活用される主な教育・学習理論と概念について理解し、実践において活用できている人

（思考・判断力・表現力）

D.AP3 直面している課題を大局的な観点から検討し、より良い課題解決法を柔軟に発想し、解決に取り組む基本的能力を有する人

（関心・意欲・態度）

D.AP4 高い倫理観をもち、高度な看護学の専門的知識の修得に意欲的に取り組み、地域社会の発展に貢献する看護研究、看護教育、看護実践を遂行する能力の獲得を目指す人

選抜方法	出願書類	筆記試験	面接試験
選抜方法に対するアドミッション・ポリシー番号	D.AP1・2	D.AP1・2・3	D.AP3・4
一般入学試験	○	○	○
社会人入学試験	○	○	○

目　次

本冊子には、2027(令和９)年度春季(４月)に看護学研究科の博士前期課程(修士課程)及び博士後期課程への入学を希望する方に必要な情報が記載されています。間違いのないように出願手続を行ってください。

募集には、「一般」「社会人」の２種類があります。博士前期課程(修士課程)に関する事項は第１章に、博士後期課程に関する事項は第２章に、「教員一覧・授業科目・研究テーマ・研究要旨」は第３章に記載されています。論文指導を希望する研究指導教員については、必ず出願前に希望する教員に連絡のうえ、出願してください。(連絡方法については、入試・広報課までお問い合わせください。) なお、教員一覧には採用予定の教員を含みます。掲載している職位は令和９年４月１日現在の予定職位であり、採用手続、人事異動等の状況により変更となる場合があります。

また、出願書類所定用紙は、別途封筒をご確認ください。出願に関してご不明な点はお問い合わせください。

第１章

博士前期課程(修士課程)

2027(令和９)年度春季(４月)入学博士前期課程(修士課程)入学試験概要

入試区分　募集人員　入試日程 …… 1

＜一般入学試験＞

１.出願資格 …… 2

２.出願資格審査 …… 2

３.選考方法 …… 2

＜社会人入学試験＞

１.出願資格 …… 3

２.出願資格審査 …… 3

３.選考方法 …… 3

＜博士前期課程(修士課程)入学試験出願手続・合格発表・入学手続＞

１.出願手続…… 4

２.出願書類…… 4

３.合格発表…… 5

４.入学手続…… 5

出願資格審査…… 5

2027(令和９)年度春季(４月)入学　大学院学費等納入金(博士前期課程(修士課程)) … 6

長期履修制度 …… 7

2027(令和９)年度春季(４月)入学　大学院学費等納入金(長期履修学生) …… 8

看護学研究科／看護学専攻　博士前期課程(修士課程)授業科目一覧 …… 9

第２章
博士後期課程

2027（令和９）年度春季（４月）入学博士後期課程入学試験概要

入試区分　募集人員　入試日程 ……11

＜一般入学試験＞
１. 出願資格 ……12
２. 出願資格審査 ……12
３. 選考方法 ……12

＜社会人入学試験＞
１. 出願資格 ……13
２. 出願資格審査 …… 13
３. 選考方法 ……13

＜博士後期課程入学試験出願手続・合格発表・入学手続＞
１. 出願手続……14
２. 出願書類……14
３. 合格発表……15
４. 入学手続……15
出願資格審査 ……15

2027(令和９)年度春季(４月)入学　大学院学費等納入金(博士後期課程)……16
看護学研究科／看護学専攻　博士後期課程授業科目一覧……17

第３章
大学院専任教員一覧　授業科目・研究テーマ・研究要旨……19

第1章
博士前期課程（修士課程）

2027(令和９)年度春季(４月)入学
博士前期課程(修士課程)入学試験概要

入試区分

1	一般入学試験	2	社会人入学試験

募集人員

研究科	専攻	課程	入学定員	募集人員	
				前期日程	後期日程
看護学研究科	看護学専攻	博士前期課程 (修士課程)	６名	４名	２名

入試日程

	前期日程	後期日程
出願期間<必着>	2026(令和8)年 12月4日(金)～12月11日(金)	2027(令和9)年 1月4日(月)～1月21日(木)
試験日	2026(令和8)年 12月19日(土)	2027(令和9)年 2月13日(土)
試験場	本学 (坂之上キャンパス)	本学 (坂之上キャンパス)
合格発表日	2026(令和8)年 12月25日(金)	2027(令和9)年 2月26日(金)
入学手続期間<必着>	2026(令和8)年12月25日(金)～ 2027(令和9)年2月12日(金)	2027(令和9)年 2月26日(金)～3月11日(木)

Ⅰ　一般入学試験

「一般入学試験」は、大学を卒業した者（入学までに卒業見込みの者を含む。）又は大学卒業と同等以上の学力を有すると本研究科が認めた者を対象とした入学試験です。高度な実践力・研究能力の修得を目指す意欲ある者を選抜します。

1.出願資格

看護職の国家資格を有する者又は取得見込みの者で、次の各号のいずれかに該当する者とします。

前期日程／後期日程
(1) 大学を卒業した者又は令和9年3月までに卒業見込みの者 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は令和9年3月までに授与される見込みの者 (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者若しくは令和9年3月までに修了見込みの者又は、学士の学位取得者若しくは令和9年3月までに取得見込みの者のいずれかに該当する者 ※外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者 ※外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 指定された専修学校の専門課程(文部科学大臣指定専修学校専門課程)を修了した者又は令和9年3月までに修了見込みの者 (6) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学看護学研究科が認めた者で、令和9年3月末までに22歳に達する者 ※(6)による出願を希望する者は、出願前に出願資格審査を受ける必要があるため、入試・広報課に照会してください。 (7) 上記（1）～（6）のいずれかに該当し、かつ下記の出願資格に該当する者は、長期履修制度に申請できるものとする。 ア 職業を有している等の事情により著しく学修時間の制約を受ける者 イ 出産・育児・介護等の特別な事情により著しく学修時間の制約を受ける者

※在職中に出願する者は、出願時に所属長の承諾書を提出する。

2.出願資格審査

Ｐ５参照。

3.選考方法

書類審査、筆記試験〔小論文、外国語(英語)、専門科目〕、口頭試問により総合的に判定します。
※外国語試験は、辞書１冊持込可。ただし、和英辞典、電子辞書等を除く。

試験日については、入試日程で確認してください。

看護学研究科 看護学専攻

時　間	科　目	備　考
9：40～ 10：40	小論文	
11：00～ 12：00	外国語	英　　語
13：00～ 14：00	専門科目	看護一般
14：10～	口頭試問	口　　述

2 社会人入学試験

「社会人入学試験」は、大学を卒業した者又は大学卒業と同等以上の学力を有すると本研究科が認めた者を対象とした入学試験です。勤労者のリカレント教育や生涯学習に寄与することを目的とし、保健医療介護福祉施設、教育機関、自治体などに勤務しながら、大学院で学ぶことを希望する社会人を対象に実施します。

1.出願資格

看護職の国家資格を取得し看護職としての職歴を有する者で、次の各号のいずれかに該当する者とします。

前期日程／後期日程
(1) 大学卒業後3年以上の看護職として職歴を有し、かつ現に職に就いている者 (2) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学看護学研究科が認めた者で、6年以上の看護職として職歴を有する者 (3) 保健医療介護福祉施設、医療機関、自治体等から推薦された者 ※⑵あるいは⑶のうち大学を卒業していない場合は、出願前に出願資格審査を受ける必要があるため、入試・広報課に照会してください。 (4) 上記(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ下記の出願資格に該当する者は、長期履修制度に申請できるものとする。 ア 職業を有している等の事情により著しく学修時間の制約を受ける者 イ 出産・育児・介護等の特別な事情により著しく学修時間の制約を受ける者

※在職中に出願する者は、出願時に所属長の承諾書を提出する。

2.出願資格審査

P５参照。

3.選考方法

書類審査、筆記試験(小論文)、口頭試問により総合的に判定します。
試験日については、入試日程で確認してください。

看護学研究科 看護学専攻

時　間	科　目	備　　考
９：40～ 10：40	小論文	
筆記試験 終了後	口頭試問	口　　述

博士前期課程(修士課程)入学試験出願手続･合格発表･入学手続

1.出願手続

(1) 出願方法

①出願は所定の送付ラベルを市販の封筒（Ａ４サイズ）に貼付け、簡易書留扱いの郵送又は直接持参によって行ってください。

②窓口受付は土曜日・日曜日･祝日を除き、9:00～16:30までとします。

(2) 出願上の留意事項

①出願書類の記入事項及び書類などに不備がある場合は受け付けません。

②出願書類受理後は、いかなる理由があっても記入事項及び書類の変更は認めません。また、入学検定料の払い戻し及び出願書類の返却はできません。ただし、出願後に住所変更などが生じた場合は、直ちに連絡してください。

(3) 出願書類提出先

〒891－0197　鹿児島県鹿児島市坂之上8－34－1　鹿児島国際大学 入試・広報課（坂之上キャンパス）　電話(099)261－3211(代)

2.出願書類

提出書類＼入試区分	一般	社会人	備　　考
志　願　票	○	○	所定の用紙(様式A)に本人が記入してください。
写真票・受験票・入学検定料	○	○	**30,000円(銀行振込)「電信扱」** 入学検定料は、本学所定の入学志願書の(B)～(D)票に必要事項を記入のうえ、振り込みの後、入学志願書の(B)～(D)票を提出してください。また、一度振り込んだ入学検定料はお返しできません。
志願者調書	○	○	所定の用紙(様式G)に本人が記入してください。
卒業証明書又は卒業見込証明書など	○	○	出身大学等発行の**原本**を提出してください。(※中国の大学等を卒業の場合は、**公正証書**を添付)なお、学校教育法第104条第7項の規定により出願する場合は、学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書を提出してください。
学業成績証明書	○	○	出身大学等発行の**原本**を提出してください。
免許証(状)の写し	○	○	保健師、助産師、看護師又は養護教諭の資格のうち、取得している全ての免許証(状)の写しをＡ４サイズに縮小したものを提出してください。 本年度の出願資格審査により出願資格を認定された者については、再提出の必要はありません。
レターパックライト	○	○	１枚購入し、真ん中から半分に折って書類と一緒に送付してください。受験票返送用として使用するので、宛名欄は自身で記入してください。
研究計画書	○	○	所定の用紙(様式H)に本人が記入してください。
推　薦　書	①	①	①保健医療介護福祉施設、医療機関、自治体等から推薦された方のみ、所定の用紙(様式Ⅰ)を提出してください。**(厳封で提出)**
日本語能力を証明する書類	②	②	②外国国籍の方のみ、「**日本語能力認定書**(所定の用紙(様式K))」又は**「日本語能力試験N1(総合得点100点以上、CEFRレベルB2以上)合格の成績証明書の原本**を提出してください。
住　民　票	③	③	③**外国国籍を有する日本在住の方のみ**、市区町村長の発行した原本を提出してください。**(在留資格、期間の記載されたもの)**
身元保証書	④	④	④外国国籍の方のみ、所定の用紙(様式L)により提出してください。
在籍期間証明書	⑤	⑤	⑤所定の用紙(様式M)を提出してください。１施設（機関）で申請条件に該当しない場合は直近の勤務先を含む複数の施設（機関）から証明を受け、出願資格に必要な年数を満たしてください。 本年度の出願資格審査により出願資格を認定された者については、再提出の必要はありません。
承　諾　書	⑥	⑥	⑥在職中のまま出願する場合は、所定の用紙(様式N)を提出してください。
同一学園設置校の卒業証明書	⑦	⑦	⑦鹿児島国際大学卒業者以外の同一学園(鹿児島高等学校、鹿児島修学館高等学校、鹿児島国際大学短期大学部)卒業者のみ出身校発行の**原本**を提出してください。
長期履修学生申請書	⑧	⑧	⑧長期履修希望者のみ所定の用紙（様式長期第１）を提出してください。
長期履修学生申請理由書	⑨	⑨	⑨長期履修希望者のみ所定の用紙（様式長期第２）を提出してください。
出願資格認定書	⑩	⑩	⑩出願資格審査により「受験可」となった方のみ、出願資格認定書の写しを提出してください。
㊟ 提出物チェックシート	○	○	上記の書類を確認した上で、該当する書類のチェック欄に○印を付け、番号順にそろえて封入し提出してください。

※出願書類はすべて**日本語で作成**してください。また、日本語及び英語以外の言語で作成された書類には、**日本語訳を添付**してください。

3.合格発表

本人に合否を郵便で通知します。
合格者には合格通知書と入学に必要な書類を郵送します。
なお、合否に関する電話･郵便などの問い合わせには一切応じません。
合格発表日については入試日程で確認してください。

4.入学手続

入学手続（入学手続関係書類）の詳細については、合格通知書送付の際に通知します。
入学手続期間については入試日程で確認してください。

(1) 納入金

Ｐ６、Ｐ８参照。

(2) 奨学金及び援助金

①入学者(日本人学生対象)は、入学後、本人の申請により選考のうえ、独立行政法人日本学生支援機構などから奨学金が貸与される制度があります。
②私費外国人留学生は、入学後、本人の申請により選考のうえ、授業料の30％を減免する私費外国人留学生授業料減免制度があります。

(3)外国人留学生学習奨励費

入学後、本人の申請により選考のうえ、独立行政法人日本学生支援機構が学習奨励費を給付する制度があります。

入学手続完了後、指定の期日までに入学辞退を申し出、所定の手続を行った場合は、入学金を除く入学手続時納入金(授業料･教育充実費･委託徴収費)を返還します。

出願資格審査

大学を卒業していない人であっても、出願資格審査を受けて、卒業者と同等以上の学力を有すると認められる場合には、受験資格を得ることができます。出願資格審査を希望する人は、入試・広報課へ連絡のうえ、出願前に以下の手続きを行ってください。

（1）事前面談

次の期日までに、希望する指導教員と出願資格及び入学後の研究内容及び教育(履修内容等)について、面談（相談）を行ってください。

前期日程　2026（令和８）年１１月２５日（水）　　後期日程　2026（令和８）年１２月２３日（水）

（2）出願資格審査書類の提出

（１）の面談後、出願資格と同等以上の学力を有するかを個別に審査するため、以下の①～④の事項について「出願資格個別審査申請書」に記入し、以下の期日までに⑤の証明書を添えて提出してください。

①学歴・職歴　　②研究業績（学会発表、論文発表等）　　③社会における看護に関する活動経験
④志望理由　　⑤在籍期間証明書（様式M）

なお、「出願資格個別審査申請書」については、本学HPの 入試＞入学試験要項 よりダウンロードしてください。

【提出締切日】

前期日程　2026（令和８）年１１月２６日（木）　　後期日程　2026（令和８）年１２月２３日（水）

（3）審査方法

（２）の書類をもとに審査を行います。

（4）結果通知

審査の結果、出願資格が認められた人には、以下の期日までに「出願資格認定書」を送付します。

前期日程　2026（令和８）年１２月３日（木）　　後期日程　2026（令和８）年１２月２８日（月）

（5）出願時の提出書類

出願時には、「出願資格認定書」の写しを提出してください。

2027(令和9)年度春季(4月)入学大学院学費等納入金(博士前期課程(修士課程))

【看護学研究科】

入学手続時納入金　　【納入期限:入学手続締切日】　　単位:円

費目			本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者
学費	入学金		※100,000	※200,000
	授業料		150,000	150,000
	教育充実費		50,000	50,000
	小計		300,000	400,000
委託徴収費	学友会	入会金	※1,000	※1,000
		会費	5,000	5,000
	同窓会入会金		※(注)⑤	※18,000
	学生教育研究災害傷害保険料		※1,750	※1,750
	学生教育研究賠償責任保険料		※680	※680
	小計		8,430	26,430
合計			308,430	426,430

第Ⅱ期納入金　　【納入期限:2027(令和9)年6月】　　単位:円

費目		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者
学費	授業料	150,000	150,000
	教育充実費	50,000	50,000
合計		200,000	200,000

第Ⅲ期納入金　　【納入期限:2027(令和9)年10月】　　単位:円

費目		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者
学費	授業料	150,000	150,000
	教育充実費	50,000	50,000
合計		200,000	200,000

第Ⅳ期納入金　　【納入期限:2027(令和9)年12月】　　単位:円

費目		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者
学費	授業料	150,000	150,000
	教育充実費	50,000	50,000
合計		200,000	200,000

年間納入金額　　単位:円

合計	908,430	1,026,430

(注) ①委託徴収費は入学手続期間内に納入してください。
②本学学部卒業者及び同一学園卒業者については入学金半額免除
③本学看護学部の実習施設に勤務する常勤職員、県内の看護学校等教員は入学金半額免除
④※印は初年度のみ必要です。
⑤同窓会入会金(18,000円)については、本学学部卒業者は納入の必要はありません。(同一学園卒業者は必要)
⑥学友会費　年額5,000円
⑦納入期限が土日祝の場合、その後の最初の平日が期限日となります。

【長期履修制度】

博士前期課程(修士課程)では、職業を有している等の事情により、本来の標準修業年限(2年)での教育課程修了が困難な方を対象として、長期履修制度を導入しています。制度の概要は次のとおりです。

・長期履修学生として申請できる者は、 一般入学試験、 社会人入学試験を受験する者で、次に該当する者です。
(1)職業を有している等の事情により著しく学修時間の制約を受ける者
(2)出産・育児・介護等の特別な事情により著しく学修時間の制約を受ける者

・長期履修期間は3年です。

・授業料は、標準修業年限(2年)に相当する授業料の総額を長期履修期間の年数(3年)で除して納付します。

2027(令和9)年度春季(4月)入学大学院学費等納入金(長期履修学生)

【看護学研究科】

入学手続時納入金　　【納入期限:入学手続締切日】　　単位:円

費目			本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者
学費	入学金		※100,000	※200,000
	授業料		100,000	100,000
	教育充実費		50,000	50,000
	小計		250,000	350,000
委託徴収費	学友会	入会金	※1,000	※1,000
		会費	5,000	5,000
	同窓会入会金		※(注)⑤	※18,000
	学生教育研究災害傷害保険料		※2,600	※2,600
	学生教育研究賠償責任保険料		※1,020	※1,020
	小計		9,620	27,620
合計			259,620	377,620

第Ⅱ期納入金　　【納入期限:2027(令和9)年6月】　　単位:円

費目		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者
学費	授業料	100,000	100,000
	教育充実費	50,000	50,000
合計		150,000	150,000

第Ⅲ期納入金　　【納入期限:2027(令和9)年10月】　　単位:円

費目		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者
学費	授業料	100,000	100,000
	教育充実費	50,000	50,000
合計		150,000	150,000

第Ⅳ期納入金　　【納入期限:2027(令和9)年12月】　　単位:円

費目		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学以外の卒業者
学費	授業料	100,000	100,000
	教育充実費	50,000	50,000
合計		150,000	150,000

年間納入金額　　単位:円

合計	709,620	827,620

(注) ①委託徴収費は入学手続期間内に納入してください。
②本学学部卒業者及び同一学園卒業者については入学金半額免除
③本学看護学部の実習施設に勤務する常勤職員、県内の看護学校等教員は入学金半額免除
④※印は初年度のみ必要です。
⑤同窓会入会金(18,000円)については、本学学部卒業者は納入の必要はありません。(同一学園卒業者は必要)
⑥学友会費　年額5,000円
⑦納入期限が土日祝の場合、その後の最初の平日が期限日となります。

看護学研究科／看護学専攻　博士前期課程（修士課程）授業科目一覧

科目区分		授業科目名	配当年次
共通科目		看護倫理学	1
		看護教育学	1
		看護管理学基礎論	1
		データサイエンス基礎論	1
		全世代型地域包括ケア論	1
		保健医療福祉政策論	1
		看護コンサルテーション論	1
		医療情報論	1
		国際保健論	1
専門科目	看護実践探究コース	公衆衛生看護学特論	1
		成育看護学特論	1
		成人・老年看護学特論	1
		精神・在宅看護学特論	1
		公衆衛生看護学特論演習	1
		成育看護学特論演習	1
		成人・老年看護学特論演習	1
		精神・在宅看護学特論演習	1
		看護実践シミュレーション演習	1
	看護管理探究コース	基礎看護学特論	1
		看護管理学特論Ⅰ	1
		看護管理学特論Ⅱ	1
		看護管理学特論Ⅲ	1
		人的資源管理論	1
		経営組織論	1
		看護経済論	1
		基礎看護学特論演習	1
		看護管理学特論演習Ⅰ	1
		看護管理学特論演習Ⅱ	1
研究科目		看護学研究総論	1
		看護学研究方法論	1
		特別研究M	1～2

※ 入学後、論文指導を希望する教員名を志願票内の希望研究指導教員欄に記入してください。（第1志望、第2志望）

なお、看護学研究科専任教員の担当授業科目名・研究テーマ・主な研究要旨については、第3章（P19～P29）を参照してください。

第2章
博士後期課程

2027(令和９)年度春季(４月)入学
博士後期課程入学試験概要

入試区分

1	一般入学試験	2	社会人入学試験

募集人員

研究科	専攻	課程	入学定員	募集人員	
				前期日程	後期日程
看護学研究科	看護学専攻	博士後期課程	２名	若干名	若干名

入試日程

	前期日程	後期日程
出願期間＜必着＞	2026(令和8)年 12月4日(金)～12月11日(金)	2027(令和9)年 1月4日(月)～1月21日(木)
試験日	2026(令和8)年 12月19日(土)	2027(令和9)年 2月13日(土)
試験場	本学 (坂之上キャンパス)	本学 (坂之上キャンパス)
合格発表日	2026(令和8)年 12月25日(金)	2027(令和9)年 2月26日(金)
入学手続期間<必着>	2026(令和8)年12月25日(金)～ 2027(令和9)年2月12日(金)	2027(令和9)年 2月26日(金)～3月11日(木)

Ⅰ　一般入学試験

「一般入学試験」は、修士の学位を有する者（入学までに学位取得見込みの者含む。）又は修士の学位を有する者と同等以上の学力を有すると本研究科が認めた者を対象とした入学試験です。高度な実践力・研究能力の修得を目指す意欲ある者を選抜します。

1.出願資格

看護職の国家資格を有する者又は取得見込みの者で、次の各号のいずれかに該当する者とします。

前期日程／後期日程
(1) 修士の学位を有する者又は令和9年3月までに取得見込みの者 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により修士の学位を授与された者又は令和9年3月までに授与される見込みの者 (3) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和9年3月までに授与される見込みの者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学看護学研究科が認めた者 ※(5)による出願を希望する者は、出願前に出願資格審査を受ける必要があるため、入試・広報課に照会する。

※在職中に出願する者は、出願時に所属長の承諾書を提出する。

2.出願資格審査

P15参照。

3.選考方法

書類審査（修士論文・研究計画書等)、筆記試験〔小論文、外国語(英語)、専門科目〕、口頭試問（看護研究の特徴や研究手法、看護研究のプロセス、研究倫理研究に関するものの他、状況設定課題への対応、注目されている看護の概念などについて問う）により総合的に判定します。

※修士論文の内容と博士後期課程の専攻希望領域が異なる志願者については、博士後期課程の専攻内容に関する論文試験を課す場合があります。

※外国語試験は、辞書1冊持込可。ただし、和英辞典、電子辞書等を除く。

試験日については、入試日程で確認してください。

看護学研究科 看護学専攻

時　間	科　目	備　考
9：40～ 10：40	小論文	
11：00～ 12：00	外国語	英　語
13：00～ 14：00	専門科目	看護専門
14：10～	口頭試問	口　述

2 社会人入学試験

「社会人入学試験」は、看護職の国家資格を取得し看護職としての職歴を有し、修士の学位を有するもしくは修士の学位のある者と同等以上を有すると本研究科が認めた者を対象とした入学試験です。勤労者のリカレント教育や生涯学習に寄与することを目的とし、保健医療介護福祉施設、教育機関、自治体などに勤務しながら、大学院で学ぶことを希望する社会人を対象に実施します。

1.出願資格

看護職の国家資格を有し看護職としての3年以上の職歴を有する者で、次の各号のいずれかに該当する者とします。

前期日程／後期日程
(1) 修士の学位を有する者又は令和9年3月までに取得見込みの者 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により修士の学位を授与された者又は令和9年3月までに授与される見込みの者 (3) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和9年3月までに授与される見込みの者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学看護学研究科が認めた者 ※(5)による出願を希望する者は、出願前に出願資格審査を受ける必要があるため、入試・広報課に照会する。

※在職中に出願する者は、出願時に所属長の承諾書を提出する。

2.出願資格審査

P15参照。

3.選考方法

書類審査(修士論文及び最近の原著論文･研究計画書等)、筆記試験(小論文、外国語（英語）)、口頭試問（看護研究の特徴や研究手法、看護研究のプロセス、研究倫理研究に関するものの他、状況設定課題への対応、注目されている看護の概念などについて問う）により総合的に判定します。

試験日については、入試日程で確認してください。

看護学研究科 看護学専攻

時　間	科　目	備　考
9：40～ 10：40	小論文	
11：00～ 12：00	外国語	英　語
筆記試験 終了後	口頭試問	口　述

博士後期課程入学試験出願手続･合格発表･入学手続

1.出願手続

(1) 出願方法

①出願は所定の送付ラベルを市販の封筒（Ａ４サイズ）に貼付け、簡易書留扱いの郵送又は直接持参によって行ってください。

②窓口受付は土曜日・日曜日・祝日を除き、9:00～16:30までとします。

(2) 出願上の留意事項

①出願書類の記入事項及び書類などに不備がある場合は受け付けません。

②出願書類受理後は、いかなる理由があっても記入事項及び書類の変更は認めません。また、入学検定料の払い戻し及び出願書類の返却はできません。ただし、出願後に住所変更などが生じた場合は、直ちに連絡してください。

(3) 出願書類提出先

〒891－0197　鹿児島県鹿児島市坂之上8－34－1　鹿児島国際大学 入試・広報課　電話(099)261－3211(代)

2.出願書類

入試区分 / 提出書類	一 般	社会人	備　　考
志　願　票	○	○	所定の用紙（様式A）に本人が記入してください。
写真票・受験票・入学検定料	○	○	**30,000円(銀行振込)「電信扱」** 入学検定料は、本学所定の入学志願書の(B)～(D)票に必要事項を記入のうえ、振り込みの後、入学志願書の(B)～(D)票を提出してください。また、一度振り込んだ入学検定料はお返しできません。
志願者調書	○	○	所定の用紙（様式G）に本人が記入してください。
修了証明書又は修了見込証明書など	○	○	出身大学等発行の**原本**を提出してください。(※中国の大学等を卒業の場合は、**公正証書**を添付)なお、学校教育法第104条第7項の規定により出願する場合は、学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書を提出してください。
学業成績証明書	○	○	出身大学等発行の原本を提出してください。
免許証(状)の写し	○	○	保健師、助産師、看護師又は養護教諭の資格のうち、取得している全ての免許証(状)の写しをＡ４サイズに縮小したものを提出してください。 本年度の出願資格審査により出願資格を認定された者については、再提出の必要はありません。
レターパックライト	○	○	１枚購入し、真ん中から半分に折って書類と一緒に送付してください。受験票返送用として使用するので、宛名欄は自身で記入してください。
研究計画書	○	○	所定の用紙(様式H)に本人が記入してください。
推　薦　書	①	①	①保健医療介護福祉施設、医療機関、自治体等から推薦された方のみ、所定の用紙(様式Ⅰ)を提出してください。**(厳封で提出)**
修士論文	○	○	修士論文又はその写し、あるいはこれに代わる学術論文を提出してください。
修士論文の要約文	○	○	修士論文、あるいはこれに代わる学術論文の要約文(様式J)を提出してください。(2,000字程度)
最近の原著論文	②	②	②最近の原著論文がある方のみ提出してください。(写し可) ただし、その論文は単著又は共著の場合は筆頭著者である論文とします。
最近の原著論文の要約文	③	③	③所定の用紙(様式M)を提出してください。１施設（機関）で申請条件に該当しない場合は直近の勤務先を含む複数の施設（機関）から証明を受け、出願資格に必要な年数を満たしてください。
日本語能力を証明する書類	④	④	④外国国籍の方のみ、「**日本語能力認定書**(所定の用紙(様式K))」又は**「日本語能力試験N1(総合得点100点以上、CEFRレベルB2以上)合格の成績証明書の原本**を提出してください。
住　民　票	⑤	⑤	⑤**外国国籍を有する日本在住の方のみ**、市区町村長の発行した原本を提出してください。**(在留資格、期間の記載されたもの)**
身元保証書	⑥	⑥	⑥外国籍の方のみ、所定の用紙(様式L)により提出してください。
在籍期間証明書	⑦	⑦	⑦所定の用紙(様式M)を提出してください。１施設（機関）で申請条件に該当しない場合は直近の勤務先を含む複数の施設（機関）から証明を受け、出願資格に必要な年数を満たしてください。 本年度の出願資格審査により出願資格を認定された者については、再提出の必要はありません。
承　諾　書	⑧	⑧	⑧在職中のまま出願する場合は、所定の用紙(様式O)を提出してください。
同一学園設置校の卒業証明書	⑨	⑨	⑨鹿児島国際大学大学院博士前期課程(修士課程)修了者以外の、同一学園(鹿児島高等学校、鹿児島修学館高等学校、鹿児島国際大学短期大学部、鹿児島国際大学)卒業者のみ出身校発行の**原本**を提出してください。
出願資格認定書	⑩	⑩	⑪出願資格審査により「受験可」となった方のみ、出願資格認定書の写しを提出してください。
注 提出物チェックシート	○	○	上記の書類を確認した上で、該当する書類のチェック欄に○印を付け、番号順にそろえて封入し提出してください。

※出願書類はすべて**日本語で作成**してください。また、日本語及び英語以外の言語で作成された書類には、**日本語訳を添付**してください。

3.合格発表

本人に合否を郵便で通知します。
合格者には合格通知書と入学に必要な書類を郵送します。
なお、合否に関する電話･郵便などの問い合わせには一切応じません。
合格発表日については、入試日程で確認してください。

4.入学手続

入学手続(入学手続関係書類)の詳細については、合格通知書送付の際に通知します。
入学手続期間については、入試日程で確認してください。

(1) 納入金

P16参照。

(2) 奨学金及び援助金

①入学者(日本人学生対象)は、入学後、本人の申請により選考のうえ、独立行政法人日本学生支援機構などから奨学金が貸与される制度があります。
②私費外国人留学生は、入学後、本人の申請により選考のうえ、授業料の30％を減免する私費外国人留学生授業料減免制度があります。

(3) 外国人留学生学習奨励費

入学後、本人の申請により選考のうえ、独立行政法人日本学生支援機構が学習奨励費を給付する制度があります。

入学手続完了後、指定の期日までに入学辞退を申し出、所定の手続を行った場合は、入学金を除く入学手続時納入金(授業料･教育充実費･委託徴収費)を返還します。

出願資格審査

大学を卒業していない人であっても、出願資格審査を受けて、卒業者と同等以上の学力を有すると認められる場合には、受験資格を得ることができます。出願資格審査を希望する人は、入試・広報課へ連絡のうえ、出願前に以下の手続きを行ってください。

（1）事前面談

次の期日までに、希望する指導教員と出願資格及び入学後の研究内容及び教育(履修内容等)について、面談（相談）を行ってください。

前期日程　2026（令和８）年１１月２５日（水）　　後期日程　2026（令和８）年１２月２３日（水）

（2）出願資格審査書類の提出

（１）の面談後、出願資格と同等以上の学力を有するかを個別に審査するため、以下の①～④の事項について「出願資格個別審査申請書」に記入し、以下の期日までに⑤の証明書を添えて提出してください。

①学歴・職歴　　②研究業績（学会発表、論文発表等）　　③社会における看護に関する活動経験
④志望理由　　⑤在籍期間証明書（様式M）

なお、「出願資格個別審査申請書」については、本学HPの 入試＞入学試験要項 よりダウンロードしてください。

【提出締切日】

前期日程　2026（令和８）年１１月２６日（木）　　後期日程　2026（令和８）年１２月２３日（水）

（3）審査方法

（２）の書類をもとに審査を行います。

（4）結果通知

審査の結果、出願資格が認められた人には、以下の期日までに「出願資格認定書」を送付します。

前期日程　2026（令和８）年１２月３日（木）　　後期日程　2026（令和８）年１２月２８日（月）

（5）出願時の提出書類

出願時には、「出願資格認定書」の写しを提出してください。

2027(令和9)年度春季(4月)入学大学院学費等納入金(博士後期課程)

【看護学研究科】

入学手続時納入金　　【納入期限:入学手続締切日】　　単位：円

費目			本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学博士前期課程 (修士課程)修了者	本学以外の卒業者
学費	入学金		※100,000	※▲	※200,000
	授業料		150,000	150,000	150,000
	教育充実費		50,000	50,000	50,000
	小計		300,000	200,000	400,000
委託徴収費	学友会	入会金	※1,000		※1,000
		会費	5,000	5,000	5,000
	同窓会入会金		※(注)⑤		※18,000
	学生教育研究災害障害保険料		※2,600	※2,600	※2,600
	学生教育研究賠償責任保険料		※1,020	※1,020	※1,020
	小計		9,620	8,620	27,620
合計			309,620	208,620	427,620

第Ⅱ期納入金　　【納入期限:2027(令和9)年6月下旬】　　単位：円

費目		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学博士前期課程 (修士課程)修了者	本学以外の卒業者
学費	授業料	150,000	150,000	150,000
	教育充実費	50,000	50,000	50,000
合計		200,000	200,000	200,000

第Ⅲ期納入金　　【納入期限:2027(令和9)年10月下旬】　　単位：円

費目		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学博士前期課程 (修士課程)修了者	本学以外の卒業者
学費	授業料	150,000	150,000	150,000
	教育充実費	50,000	50,000	50,000
合計		142,500	200,000	200,000

第Ⅳ期納入金　　【納入期限:2027(令和9)年12月下旬】　　単位：円

費目		本学学部卒業者 同一学園卒業者	本学博士前期課程 (修士課程)修了者	本学以外の卒業者
学費	授業料	150,000	150,000	150,000
	教育充実費	50,000	50,000	50,000
合計		142,500	200,000	200,000

年間納入金額　　単位：円

合計	909,620	808,620	1,027,620

(注)①※印は初年度のみ必要です。
②本学学部卒業者及び同一学園卒業者については入学金半額免除
③▲印は本学大学院博士前期課程(修士課程)を修了し、 同研究科の博士後期課程に進学する者は不要。
④委託徴収費は入学手続期間内に納入してください。
⑤同窓会入会金(18,000円)については、 本学学部卒業者は納入の必要はありません。(同一学園卒業者は必要)
⑥学友会費　年額5,000円
⑦納入期限が土日祝の場合、その後の最初の平日が期限日となります。

看護学研究科／看護学専攻　博士後期課程授業科目一覧

科目区分		授業科目の名称	配当年次
基礎科目		人間看護論	1
		国際看護論	1
		人材育成論	1
専門科目	地域看護領域	地域看護領域特別講義	1
		地域看護領域特別講義演習	1
	生涯発達看護領域	生涯発達看護領域特別講義	1
		生涯発達看護領域特別講義演習	1
	看護キャリア発達領域	看護キャリア発達領域特別講義	1
		看護キャリア発達領域特別講義演習	1
研究科目		特別研究D	1～3

※入学後、論文指導を希望する教員名を志願票内の希望研究指導教員欄に記入してください。（第1志望、第2志望）
なお、看護学研究科専任教員の担当授業科目名・研究テーマ・主な研究要旨については、第3章（P19～P29）を参照してください。

第3章
大学院専任教員一覧
授業科目・研究テーマ・研究要旨

■希望研究指導教員について

志願票の希望研究指導教員の欄には、表左上の志願する課程の演習担当に〇のある教員より記入してください。
担当教員については必ず出願前にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

修士演習	博士演習
○	○

博士前期課程　（修士課程）・博士後期課程ともに担当

修士演習	博士演習
○	―

博士前期課程（修士課程）のみ担当

修士演習	博士演習
―	―

いずれも担当なし

教員一覧には採用予定の教員を含みます。掲載している職位は令和９年４月１日現在の予定職位であり、採用手続、人事異動等の状況により変更となる場合があります。

授業科目・研究テーマ・研究要旨

【看護学研究科】

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	堤　由美子 看護学研究科長(就任予定)	教授	①療養過程における患者の心理 ②援助関係の発展過程の分析	博士（医学） 鹿児島大学
授業担当科目	〈M〉看護倫理学、看護教育学、データサイエンス基礎論、精神・在宅看護学特論、精神・在宅看護学特論演習、看護学研究方法論、特別研究 M 〈D〉人間看護論、地域看護領域特別講義、地域看護領域特別講義演習				
研究要旨	①発病に対する心理反応や心理プロセスを記述し、普遍的な人間反応と独自な反応に関わる要因を解明し、患者や家族に対する心理的支援に関わるスキルの開発に取り組んでいる。 ②信頼関係構築に繋がる関係初期における看護者の対象に関する情報処理の仕方及び対象が看護者の言動等の受け止め方を検討し、援助関係の発展に繋がる出会い方の分析を行っている。				
主要研究業績等	・「造血器主要患者の初期治療期における主観的体験と自己決定の質的分析」（共著，日本看護科学開始，33（4），p.53-62，2013.） ・「大腸患者の永久的ストーマ保有による喪失体験の意味探究の仕方」（共著，日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌，20（4），p.41.-419，2017.） ・「緩和的化学療法を受けているがん患者の配偶者の気持ちの不安定さに関わり要因の探索」（共著，Palliative Care Research，14（2），p.227-235，2020.） ・「精神科における事前情報が看護者の印象形成におよぼす影響-ネガティブ情報を用いて」（共著，日本精神保健看護学会誌，11（1），p.19-30，2002.） ・看護者の対人認知傾向の検討：事例情報の認知的処理過程の調査から」（共著，鹿児島大学医学部保健学科紀要，9巻，p23-32，1999.）				

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	佐々木　くみ子	教授	成育看護に関連する研究（周産期看護、セクシュアリティと看護、親の発達）	博士（医学） 鳥取大学
授業担当科目	〈M〉全世代型地域包括ケア論、成育看護学特論、成育看護学特論演習、看護学研究方法論、特別研究 M 〈D〉人間看護論、生涯発達看護領域特別講義、生涯発達看護領域特別講義演習、特別研究 D				
研究要旨	周産期看護、セクシュアリティと看護、親の発達を主な研究領域としている。現在は主に、近年増加傾向にある性的少数者の妊娠出産に着目し、性的少数者に対する周産期看護の質向に向けた研究を進めている。加えて、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(SRHR)を基盤とした包括的性教育に関する研究、離島・島嶼地域の成育看護に関連したケアシステムの構築に関する研究にも取り組んでいる。				
主要研究業績等	・母性看護学Ⅱマタニティサイクル：母と子そして家族へのよりよい看護実践,南江堂,2025.（共著） ・助産師基礎教育テキスト 2025 年版分娩期の診断とケア,日本看護協会出版会,2024.（責任編集・共著） ・Research on Cancer Screening Promotion and Employment Support for Employees with Cancer at Business Establishments, Yonago Acta Medica 2023.(責任著者) ・胎児付属物の娩出後の観察方法に関する検討,大阪医科大学看護研究雑誌,3,47-57,2013.(共) ・親の人格的発達に影響を及ぼす諸要因 妊娠期から乳児期にかけて, 母性衛生 46(4) ,580-587,2006.(単) ・Are transcription factors NF-kappaB and AP-1 involved in the ANG II-stimulated production of proinflammatory cytokines induced by LPS in dehydrated rats?, Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol289(6),R1599-608,2005.(共) ・親となることによる人格的発達に関する研究 第 1 子妊娠期の父母について,母性衛生 46(1), 62-68,2005.(単)				

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	白井　みどり	教授	高齢者の生活機能と生活環境に関する研究	博士（看護学） 大阪府立看護大学

授業担当科目	〈M〉看護倫理学、全世代型地域包括ケア論、成人・老年看護学特論、成人・老年看護学特論演習、特別研究 M 〈D〉人材育成論、生涯発達看護領域特別講義、生涯発達看護領域特別講義演習、特別研究 D
研究要旨	要介護高齢者のシーティング、生活リズムの調整、生活環境支援など生活機能の維持・向上に向けた研究 地域在住高齢者の ICT 利活用など介護予防に向けた研究
主要研究業績等	・Association between the use of Information and Communication Technology and activeness in life among community-dwelling older adults, PLOS ONE(https://doi.org/10.1371/journal.pone.0311139), 2024. ・地域在住高齢者における情報通信機器（ICT）の利用時間と睡眠の関連, 日本看護科学学会誌, 44, 2024. ・要支援高齢者の聴力と認知機能との関連に関するコホート研究, 日本健康医学会雑誌, 31(2), 2022. ・施設入所高齢者の夜間のおむつ交換回数による中途覚醒時間の変化, 老年看護学, 25(2), 2021. ・座位からの転倒転落事故による高齢者への身体的影響とそれに関連する要因, 老年看護学, 23(2), 2019. ・介護保険施設におけるシーティングに対する職員の認識, 老年看護学, 22(2), 2018. ・普通型車いすからいすへの変更による認知症高齢者の座位姿勢とその修正に関連する行動の変化，日本認知ケア学会誌, 9(3), 2010.

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	中馬　成子	教授	看護実践・教育・組織における看護実践の省察および専門職としてのキャリア支援に関する研究	博士（看護学） 大阪府立大学

授業担当科目	〈M〉看護倫理学、基礎看護学特論、基礎看護学特論演習、特別研究 M 〈D〉看護キャリア発達領域特別講義、看護キャリア発達領域特別講義演習、特別研究 D
研究要旨	看護倫理学、基礎看護学および看護キャリア発達領域を基盤として、看護実践・教育・組織における看護実践過程の省察および倫理的課題や専門職としてのキャリア支援に関する研究を行う。講義・演習・研究を通して、科学的かつ論理的思考力を基盤に、看護実践の質向上、人材育成、看護職のキャリア形成に寄与する教育研究を推進し、実践と研究を統合できる高度看護専門職および研究者の育成を目指す。
主要研究業績等	・基礎看護学における看護過程演習のグループワークによる主体的な学習態度の変化と看護過程の習得状況，共著，奈良学園大学紀要，第 10 集，p.89-97，2019 年. ・レスパイトケアを継続利用する在宅重症心身障害児（者）の母親の心理プロセス，共著，日本看護研究学会雑誌 43 巻 3 号，p.3，2020 年. ・健康な高齢者におけるケリーパッドを用いた安楽な洗髪姿勢時の股関節・膝関節の屈曲角度，及びそれら角度と基本属性の関連，共著，日本健康医学会誌，29 巻 2 号，p.229-237，2020 年. ・2 型糖尿病患者の療養行動の継続を促すセルフレギュレーションに基づく介入効果，29 巻 2 号，共著，Health, Vol.13,No4.，p.472-481，2021 年.

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	鳥越　郁代	教授	・出産準備教育 ・分娩期の助産ケア ・周産期における意思決定支援	博士（看護学） 兵庫県立大学
授業担当科目	〈M〉看護倫理学、国際保健論、成育看護学特論、成育看護学特論演習、特別研究 M 〈D〉国際看護論、生涯発達看護領域特別講義、生涯発達看護領域特別講義演習、特別研究 D				
研究要旨	これまで、意思決定の共有（shared decision-making）モデルを根底におくオタワ決定サポート枠組みをもとに帝王切開分娩後の女性の出産選択のための決定援助プログラムを開発し,そのプログラムを用いた介入研究の実施・評価を行ってきた。本研究の成果をもとに、現在帝王切開で出産する女性・カップルのための出産準備教育の開発、その効果検証に関する研究に取り組んでいる。				
主要研究業績等	・鳥越郁代(2026). 佐々木くみ子責任編集.助産師基礎教育テキスト 第 5 巻『分娩期の診断とケア』第 4 章「分娩経過に応じたアセスメント・診断とケア」（p.126-175）.日本看護協会出版会. ・鳥越郁代(2026). 工藤美子責任編集. 助産師基礎教育テキスト 第 1 巻『助産概論・母子保健』第 2 章 3「女性の意思決定をささえるしくみ」（p.54-68）. 日本看護協会出版会. ・Ikuyo Torigoe, Allison Shorten(2018).Using a pregnancy decision support program for women choosing birth after a previous caesarean in Japan: A mixed methods study.Women and Birth. 31(1), e9-e19. ・Ikuyo Torigoe, Brett Shorten, Shizuka Yoshida, Allison Shorten (2016) .Trends in birth choices after caesarean section in Japan: A national survey examining information and access to vaginal birth after caesarean.. Midwifery.37, 49-56.				

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	丹羽　さよ子	教授	地域での暮らしを最期まで支える人材育成に関する研究	博士（医学） 鹿児島大学
授業担当科目	〈M〉看護コンサルテーション論、精神・在宅看護学特論、精神・在宅看護学特論演習、看護学研究総論、特別研究 M 〈D〉人材育成論、地域看護領域特別講義、地域看護領域特別講義演習、特別研究 D				
研究要旨	より質の高い看護ケアを提供できる人材育成に資するために、看護学生や臨床ナースが記載したレポートやプロセスレコード等を分析することにより、看護の思考過程である看護過程展開上の特徴や看護過程展開能力を明らかにする研究を行っている。				
主要研究業績等	・看護師のリカレント教育における島嶼フィールドワークの有用性－「地域での暮らしを支える看護職の育成」に焦点をあてて－、共著、日本在宅ケア学会誌,28（1） ・プロセスレコードを用いたリフレクションの意義を考える～臨床経験のある看護師のリフレクション時の気づきの分析から～、共著、鹿児島大学医学部保健学科紀要，32（1） ・Development of a self-assessment behavioral and psychological symptoms of dementia competency scale for care teams at long-term geriatric care facilities、共著、Geriatric Nursing,42 ・「地域での暮らしを最期まで支える人材養成」の課題―履修生の看護過程展開上の特徴からの検討―、共著、鹿児島大学医学部保健学科紀要 29				

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	別府　千恵	教授	看護管理・組織デザイン・人材育成・医療の質管理	博士（看護学） 聖路加国際大学

授業担当科目	〈M〉看護倫理学、看護管理学特論Ⅰ、看護管理学特論Ⅲ、経営組織論、看護管理学特論演習Ⅰ、特別研究 M 〈D〉人材育成論、看護キャリア発達領域特別講義、看護キャリア発達領域特別講義演習、特別研究 D
研究要旨	看護職のキャリア開発や看護管理者の育成について研究してきた。看護管理者の管理能力の分析と、スタッフや患者に与える影響を研究している。看護を取り巻く環境の変化、医療経済や人口構造の変化が、看護職者の役割に与える影響を探求している。
主要研究業績等	・看護管理学習テキスト 4 版 3 巻「人材管理論」（共著, 日本看護協会出版会, 2026 年） ・看護学テキスト NiCE, 新版看護管理学-（共著, 南江堂, 2026 年） ・混沌を解く 看護は何のために存在するかを問う．（単著, 日本看護管理学会誌,27 巻 1 号，p.259-265, 2023 年） ・看護管理者のコンピテンシーの概念分析（単著, 日本看護管理学会誌, 23 巻 1 号，p. 160-167, 2019 年） ・看護部長が認識する看護師長の卓越した成果と関連するコンピテンシー(単著, 日本医療・病院管理学会誌 56 巻 2 号, p.71-79, 2019 年） ・時代の要請に応える看護学教育の探索　大学病院と学部のコラボレーションによる看護教育の現状と課題（単著, 北里看護学誌, 19 巻 1 号，p.38-41, 2017 年）

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	○	米増　直美	教授	①管理期保健師の組織マネジメント能力向上 ②多文化・地域共生社会実現をめざすコミュニティづくり	博士（看護学） 千葉大学

授業担当科目	〈M〉看護管理学基礎論、保健医療福祉政策論、国際保健論、公衆衛生看護学特論、公衆衛生看護学特論演習、看護管理学特論Ⅱ、看護管理学特論演習Ⅱ、特別研究 M 〈D〉国際看護論、地域看護領域特別講義、地域看護領域特別講義演習、特別研究 D
研究要旨	①地域包括ケアの推進において看護職が発揮するマネジメント能力の向上を目的とし、多機関に所属する看護職同士が学び合う学習プログラムの開発に関する研究、および行政サービスの質管理に関わる管理期保健師の組織マネジメントにおけるコンピテンシー向上に関する研究。 ②地域の人々の自助力・互助力の現状および、これまでに培われてきた地域における介護や子育てに関する価値観を踏まえ、高齢者支援、障害者支援、子育て支援のあり方を検討し、地域共生社会の実現を目指す研究。
主要研究業績等	・「地域包括支援センター保健師のマネジメント機能の発揮状況と看護実践上の課題認識」（共著,岐阜県立看護大学紀要,26 (1),27-38,2026） ・「看護の専門性を高めるマネジメント能力向上に向けた支援プログラムの検討」（共著,岐阜県立看護大学紀要,22(1),129-136,2022） ・「管理期保健師の組織マネジメント能力向上に向けた学習プログラムの事後評価」（共著,日本公衆衛生看護学会学術集会講演集 11 回, 142,2022.） ・「地域の介護観・子育て観に即した地域づくりの方法の検討第 1 報－介護経験者への聞き取り調査からー」（共著,文化看護学会誌 17(1),2025） ・「中山間過疎地域に暮らす住民の思いに即した地域包括ケアシステムの検討」（共著,地域総合研究,53(1),2025）

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	山田　巧	教授	クリティカルケア フィジカルアセスメント	博士（看護学） 東京医療保健大学

授業担当科目	〈M〉看護教育学、全世代型地域包括ケア論、成人・老年看護学特論、成人・老年看護学特論演習、看護実践シミュレーション演習、看護学研究総論、特別研究 M 〈D〉人材育成論、生涯発達看護領域特別講義、生涯発達看護領域特別講義演習、特別研究 D
研究要旨	クリティカルケア、周術期看護、フィジカルアセスメント教育を中心に、看護師・看護学生の臨床判断力を高める教育方法を研究している。特に、呼吸器系フィジカルアセスメントへのプロジェクションマッピングの導入、周術期実習における学習機会の可視化、新人看護師の看護実践能力の評価などを通して、観察・判断・実践を結びつける教育のあり方を探究している。臨床現場で求められる実践力を、看護基礎教育から卒後教育へ連続的に育成することを目指している。
主要研究業績等	・看護技術プラクティス 第 4 版 動画付，学研メディカル秀潤社，2019. ・Best 臨地実習のための看護技術指導ガイドライン，学研メディカル秀潤社，2019. ・ミニマム・エッセンシャルズに基づく周術期実習の学習機会―看護師養成機関における多施設横断調査―．看護探究ジャーナル，1 巻 1 号，11-17，2025. ・九州内の国立病院機構病院 28 施設に勤務する卒後 1～5 年目看護職の看護実践能力―国立病院機構附属養成所とその他の教育課程との比較―．医療の広場，63 巻 3 号，33-36，2023. ・看護基礎教育における呼吸器系のフィジカルアセスメント教育へのプロジェクションマッピングの有効性．日本医療マネジメント学会雑誌，23 巻 1 号，20-24，2022.

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	稲留　直子	教授	地域特性を踏まえた健康支援体制づくり	博士（保健学） 鹿児島大学

授業担当科目	〈M〉保健医療福祉政策論、公衆衛生看護学特論、公衆衛生看護学特論演習、特別研究 M 〈D〉国際看護論、特別研究 D
研究要旨	地域特性、特に島嶼・へき地の生活や文化に即した健康支援体制の構築に関する研究を行っている。 ①島嶼・中山間過疎地域における住民主体の地域防災力向上に関する研究 ②島嶼地域における発達障がい児の子育て・子育ち支援体制づくりに関する研究 ③ヘルスデータを用いた住民主体型地域健康支援モデルの検討
主要研究業績等	・離島における発達障害児を持つ母親の子どもの受入れと地域風土との関連.（共著, 島嶼研究. 19 巻 1 号,p.1–14, 2018） ・Risk prediction score and equation for progression of arterial stiffness using Japanese longitudinal health examination data, Hypertension Research.（共著, Hypertension Research, 48:1690–1701,2025） ・中山間過疎地域に暮らす住民の思いに即した地域包括ケアシステムの検討（共著, 地域総合研究 第 53 巻第 1 号,p1-8, 2025） ・Structural Inquiry into Community Well-being in Island Regions and Development of a Model for Fostering Regional Disaster Resilience: Implementation Research Protocol（共著, 29th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2026）

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	吉田　静	教授	①グリーフケア、グリーフ支援 ②妊婦への健康教育	博士（助産学） 国際医療福祉大学
授業担当科目	〈M〉全世代型地域包括ケア論、成育看護学特論、成育看護学特論演習,特別研究 M 〈D〉人間看護論、生涯発達看護領域特別講義、生涯発達看護領域特別講義演習、特別研究 D				
研究要旨	①子どもの喪失経験を持つ者の悲嘆過程と提供されるケアや支援、また医療者の支援に関する研究を行っている。特に「父親」には母親を支える役割を期待され、支援も等閑されやすい。そのため父親の思いやニーズをもとに医療者の課題等を探っている。 ②従来の知識伝達型のマザークラスではなく、妊婦の五感を刺激することで身体や胎児との対話を深める「身体感覚活性化マザークラス」に参加した女性の思考や価値観の変化などに関する研究を行っている。				
主要研究業績等	・「子どもを亡くした家族への支援と理解②」（単著,キリスト教保育 7 月号,14-18,2025 年） ・「子どもを亡くした家族への支援と理解①」（単著,キリスト教保育 6 月号,14-18,2025 年） ・「子どもを喪失した父親の体験と看護者へ望む支援」（共著,日本助産学会誌, 36(2),212-224,2022 年） ・「子どもを喪失した父親が看護者に求めるケアに関する研究」（共著,インターナショナル Nursing Care Research,21(2),41-50,2022 年） ・「『子どもを喪失した両親に携わる看護者の語りの会』の評価と今後の課題」（共著,福岡県立大学看護学研究紀要,13,91-98,2016 年） ・「『身体感覚活性化マザークラス医療者向けセミナー』に参加した医療者のドゥーラ体験」（共著,福岡県立大学看護学研究紀要,9(2),43-52,2012 年）				

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ	最終取得学位
―	―	宮田　昌明	教授	健康寿命延伸を目指したヘルスプロモーション科学	博士（医学） 鹿児島大学
授業担当科目	〈M〉データサイエンス基礎論、成人・老年看護学特論、成人・老年看護学特論演習、看護実践シミュレーション演習、特別研究 M 〈D〉生涯発達看護領域特別講義、生涯発達看護領域特別講義演習、特別研究 D				
研究要旨	① 多職種で行っている垂水市高齢者コホート研究の垂水研究に参加し、垂水研究の調査データを保健師・看護師の視点から睡眠、入浴習慣、温泉入浴、口腔衛生などと血管硬化度や活動度、認知能力、運動能力などとの関連を解析し、健康長寿やフレイル予防に関する因子を抽出している。さらに、その結果から保健師や看護師による生活介入方法を開発し、その介入効果を解析することを目指している。 ② 健診データを用い、動脈硬化や血管老化に関する因子を明らかにし、その予防法を研究している。				
主要研究業績等	・地域在住高齢者における糖尿病予備群の座位時間. 日本健康医学会雑誌. 33: 528-533, 2025 ・Risk prediction score and equation for progression of arterial stiffness using Japanese longitudinal health examination data. Hypertens Res. 48(5):1690-1701, 2025 ・Association between depressive tendencies and bathing or hot spring bathing habits among community-dwelling middle-aged and older adults. Psychogeriatrics. 25(3): e70046, 2025 ・地域住民健診コホートの高齢者における入浴習慣と健康長寿との探索的研究. 日本健康開発雑誌. 44: 69-74, 2023 ・Cutoff values of brachial-ankle pulse wave velocity for atherosclerotic risks by age and sex in the Japanese general population. J Atheroscler Thromb. 30(5): 481-490, 2023				

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ	最終取得学位
―	―	安藤　光子	教授	①こころの健康課題を持つ人への支援 ②精神看護の質の向上と教育 ③看護師のメンタルヘルス	修士（看護学） 兵庫県立看護大学
授業担当科目	〈M〉全世代型地域包括ケア論、看護コンサルテーション論、精神・在宅看護学特論、精神・在宅看護学特論演習				
研究要旨	①　精神疾患を合併する身体疾患患者に対する質的研究 ②　総合病院における医療スタッフ間の連携の促進、特にナースの知識や技術の発展とメンタルヘルス支援に関する実践的研究を行っている。①②は主に専門看護師として精神看護の質の向上と組織改革を目的していた。今後は、看護実践における援助関係が看護の質、看護師の成長とメンタルヘルスにどのような影響を及ぼすのかについて検討・探求していきたいと考えている。				
主要研究業績等	・「妊産婦の生活と育児に寄り添うメンタルヘルスケア」（共著、ＭＣメディカ出版、2022 年）第 4 章の一部「精神科を有する総合病院における連携」P76-82、第 5 章の一部「向精神薬を服用中の妊産婦への関わり」P89-93 ・リエゾンナースと考える「困りごと」にどうかかわるか（共著、ナースツールズ出版、2011 年）第Ⅱ章「不安の強い患者とのかかわり」P33-39、第Ⅲ章「不安と防衛規制」P140-144 ・精神看護スペシャリストに必要な理論と技法（共著、日本看護協会出版会、2008 年）コンサルテーション事例」の 2 編（281-287 頁） ・「精神科および一般科のみの臨床経験では看護師のアセスメントはどのように異なるか.」共著、日本看護学会論文集: 精神看護,45, 203-206、2015 年 ・「看護場面における感情状態を判断する手がかりに関する検討」共著、三重看護学誌 8 巻 pp.55-63、2005 年				

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ	最終取得学位
○	―	武　亜希子	准教授	看護サービス評価皮膚･排泄ケアの看護実践開発	博士（経済学） 鹿児島国際大学
授業担当科目	〈M〉成人・老年看護学特論、成人・老年看護学特論演習、看護実践シミュレーション演習、看護経済論、特別研究 M 〈D〉人間看護論、生涯発達看護領域特別講義演習				
研究要旨	「看護サービスの経済的・客観的評価」と「皮膚・排泄ケアにおける臨床看護実践開発」の 2 つの軸から、看護マネジメントと高度実践のあり方を研究しています。看護管理・経済の領域では、看護労働の価値を可視化する評価尺度の開発や、褥瘡発生が病院収支・看護ケア量に与える影響の分析など、経営や政策にも直結するマクロな研究を行っています。また、臨床実践領域では、ストーマ保有患者の心理的プロセスや、エコーを用いた小児への自己導尿指導など、患者の QOL を高めるケア技術の研究を行っています。				
主要研究業績等	・看護サービス労働の評価尺度に関する日本語版 Good Nursing Care Scale の開発および信頼性と妥当性の検証，看護経済・政策研究学会誌 8 巻,p.1-11. ・価値形成労働としての看護サービス労働―看護サービス労働の新たな評価基準の開発のために―，鹿児島国際大学大学院学術論集 16 巻,p.1-9. ・大腸癌患者の永久的ストーマ保有に伴う体験における意味獲得プロセス，日本創傷･オストミー･失禁管理学会誌 24 巻 3 号,p.289-299 ・皮膚・排泄ケア認定看護師によるエコーを用いた小児の CIC 指導，日本創傷･オストミー･失禁管理学会誌 21 巻 4 号.p.327-332 ・特定機能病院における深部褥瘡発生が及ぼす入院収支と看護ケア量への影響，医療情報学 35 巻,1 号 p.31-36.				

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ	最終取得学位
—	—	塩満　智子	准教授	地域・職域における健康づくりに関する研究	修士（医科学） 宮崎大学

授業担当科目	〈M〉データサイエンス基礎論、全世代型地域包括ケア論、保健医療福祉政策論、看護学研究方法論、特別研究 M 〈D〉地域看護領域特別講義演習、特別研究 D
研究要旨	生活習慣病予防、介護予防、健康増進をテーマとし、地域・職域における健康づくり支援や介入プログラムの開発に取り組んでいる。近年では、ロコモティブシンドロームと生活習慣の関連についての疫学的な解明、在宅勤務者への介入プログラムの効果検証の実施など、エビデンスに基づく効果的な保健指導や健康づくり支援のあり方について研究を推進している。
主要研究業績等	・在宅勤務者における運動機能向上を目的とした多要素介入プログラムの検討：フィージビリティスタディ, 産業衛生学雑誌, 68 (1) : 26 - 31, 2026. ・The Impact of Workplace Fitness Assessments on Physical Activity Among Japanese Office Workers, 日本健康医学会雑誌, 34 (4) : 428 -435, 2025. ・Lifestyle-related signs of locomotive syndrome in the general Japanese population: A cross-sectional study, Journal of Orthopaedic Science, DOI : 10.1016/j.jos.2019.08.005 ・姿勢重心計測機器で把握した左右バランスと体力およびロコモ度との関連, 日本健康医学会雑誌, 27 (2) , 118 - 124, 2018 ・Quantitative assessment of locomotive syndrome in Japanese office workers, The Japanese society of Physical Fitness and Sports Medicine, 7 (2) , 143 - 149, 2018

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ	最終取得学位
—	—	小玉　博子	准教授	地域包括ケアにおける看護職の人材育成・管理体制	修士（看護学） 鹿児島大学

授業担当科目	〈M〉全世代型地域包括ケア論、人的資源管理論 〈D〉人間看護論
研究要旨	在宅療養やターミナルケアの継続、利用者本位の地域包括ケア実現に向け、組織体制や看護職の人的資源管理、管理的課題について多元的な調査研究を行っている 。特に急性期病院から在宅への移行推進において、退院支援業務の効率化と看護師の退院支援能力を育成する継続教育体制の構築が重要課題となる 。研究の継続的なテーマとして、少子高齢化社会における看護職の役割のパラダイムシフトを促し、社会貢献の一助となることが目標である。
主要研究業績等	・「急性期病院看護師の退院支援能力と関連要因検討」（共著：日本看護科学学会第 43 回学術集会　2023） ・「プロセスレコードを用いたリフレクションの意義を考える～臨床経験のある看護師のリフレクション時の気づきの分析から～」（共著：鹿児島大学医学部保健学科紀要，32 巻 1 号　2022） ・「緩和的化学療法を受けているがん患者の配偶者の気持ちの不安定さに関わる要因の探求」（共著：Palliative Care Research，14 巻 3 号　pp.227-235　2019） ・「.急性期病院に勤務する看護師の在宅療養移行支援力に関わる要因の分析」（共著：日本看護研究学会第 23 回九州・沖縄地方学術集会　2018） ・「患者のための入退院支援に向けた業務効率化の試み」（共著：日本医療マネジメント学会第 14 回九州山口連合大会 2015）

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ	最終取得学位
―	―	一宮　絵美	講師	看護教育実践と キャリア形成支援に関する研究	修士(人間科学) 西南学院大学

授業担当科目	〈M〉看護教育学、基礎看護学特論、基礎看護学特論演習
研究要旨	看護基礎教育における教育実践と看護キャリア発達支援に関する研究を基盤として、看護職の専門職成長を支える教育方法や学習支援のあり方について探究している。特に、看護教員養成、臨地実習教育、看護学生の学習経験、多職種連携による医療マネジメントに着目し、教育現場と臨床現場をつなぐ実践的研究を進めている。 これらを通して、看護基礎教育の質向上と、看護職のキャリア発達を支援する教育的方策の構築を目指している。
主要研究業績等	・看護職に対する看護教員インターンシップの取り組み－5 日間のインターンシップ・プログラムを作成して　（看護展望 Vol.42, No.12, p1188-1196, 2016） ・成人看護学実習前の「ICU 看護」に対する学生のイメージ（純真学園大学雑誌第 6 号, p.35-41, 2017） ・効果的な病床管理にむけての多職種での取り組み（日本医療マネジメント学会誌　vol24,No4, 2024）

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ	最終取得学位
―	―	西頭　知子	講師	性（セクシュアリティ）教育、 国際看護	修士（保健学） 群馬大学

授業担当科目	〈M〉成育看護学特論演習
研究要旨	中米の農村部に住む妊婦を対象とした質的研究では、妊娠・分娩に関する情報が不足している現状を明らかにし、マス・メディアを活用した健康教育の必要性を検討した。中学生の性行動と性意識に関する量的研究からは過疎地に住む中学生のセクシュアリティの実態を、また過疎地中学校教師の性教育の取組みの現状と性教育に対する考えを質的研究により明らかにすることで、効果的な性教育と専門家との協力体制のあり方について検討を行った。現在は、大学生を対象とした包括的性教育をテーマとした研究に取り組んでいる。
主要研究業績等	ニカラグアにおける妊婦保健指導の手法に関する研究－ラジオ利用の可能性－, 平成 18 年, 修士学位論文 日本の若者の性とセクシュアリティ教育の現状に関する文献検討, 平成 23 年, 大阪医科大学看護研究雑誌 若者の性とセクシュアリティ教育の現状に関する文献検討－保健領域以外の視点からの文献検討－, 平成 24 年, 大阪医科大学看護研究雑誌 過疎地に住む中学生の性行動と性意識に関する調査研究, 平成 24 年, 母性衛生 過疎地中学校教師のセクシュアリティに関する教育への取り組み, 平成 25 年, 大阪医科大学看護研究雑誌 看護学教育における国際交流活動に関する学生の意識調査, 平成 26 年, 大阪医科大学看護研究雑誌

修士演習	博士演習	教員氏名	職位	研究テーマ	最終取得学位
―	―	水迫　友和	助教	機械学習や AI 等のデータサイエンスを活用した医療・看護データの分析と実践への応用	修士（医科学） 鹿児島大学

授業担当科目	〈M〉医療情報論
研究要旨	DPC データや病院情報システム（電子カルテ等）などの医療ビッグデータを活用し、機械学習や多変量解析、生成 AI を用いたデータ駆動型の分析や予測モデルの構築を行っている。具体的には、脳卒中患者の転院先予測モデルの検討、看護師の超過勤務発生要因の特定、生成 AI を用いた国際生活機能分類（ICF）の自動付与による看護実践の客観的評価手法の開発などに取り組んでいる。さらに、これらのデータサイエンスの手法と、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師としての臨床経験を統合し、高次脳機能障害者の生活支援や離島における地域包括ケアに関する実践的・社会的な研究も展開している
主要研究業績等	・水迫友和，久富木有加，馬場祥吾，小玉博子，丹羽さよ子（2026）「鹿児島県市町村の医療費に関する構成的要因分析：ファジィセット質的比較分析（fsQCA）による検討」『看護探究ジャーナル』1 巻 1 号, p.1-9. ・科学研究費補助金 基盤研究（C）（一般）「機械学習ベースの因果推論を用いた看護師の超過勤務発生要因の特定」（研究代表者：水迫友和，2024～2028 年）. ・科学研究費補助金 基盤研究（B）（一般）「国際生活機能分類（ICF）自動付与による看護サービスの質と well-being 評価」（研究分担者：水迫友和，2026～2028 年）. ・山下晃平，大脇万起子，中村由美子，水迫友和 他（2024）「大規模言語モデルを活用した産後の母親の個別状況に応じた対話システムの構築」『第 44 回日本医療情報学連合大会論文集』p.980-983 （第 44 回日本医療情報学連合大会 研究奨励賞受賞）. ・水迫友和（2021）「地域包括ケアシステムを見据えた脳梗塞患者の転院先予測モデルに関する研究」修士学位論文（鹿児島大学医歯学総合研究科）. ・水迫友和，馬場祥吾，岩穴口孝，宇都由美子（2020）「地域包括ケアシステムを見据えた脳梗塞患者の転院先予測モデルの検討」『第 40 回日本医療情報学連合大会論文集』p.885-888

心身に障がいを有する入学志願者との事前相談

受験上又は修学上特別な配慮を必要とする者は、所定の「合理的配慮申請書」を、希望する試験の出願開始日の30日前までを目途に入試・広報課へ提出してください。

提出後、申請にもとづき本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者と本学の関係部署（学生課、教務課等）との面談を行います。

なお、合理的配慮の申請については受験上又は修学上の特別な配慮について確認するものであり、合否判定とは一切関係ありません。

※所定の様式、その他お問い合わせについては入試・広報課へご連絡ください。

※申請が試験直前など申請内容への対応がただちにできない場合は、希望する配慮が受けられないことがあります。

入学試験における成績開示について

成績開示を希望される方（受験者本人に限る）は、下記期間内に「大学院入学試験成績開示請求書」を提出してください。詳細は、入試・広報課へお問い合わせください。

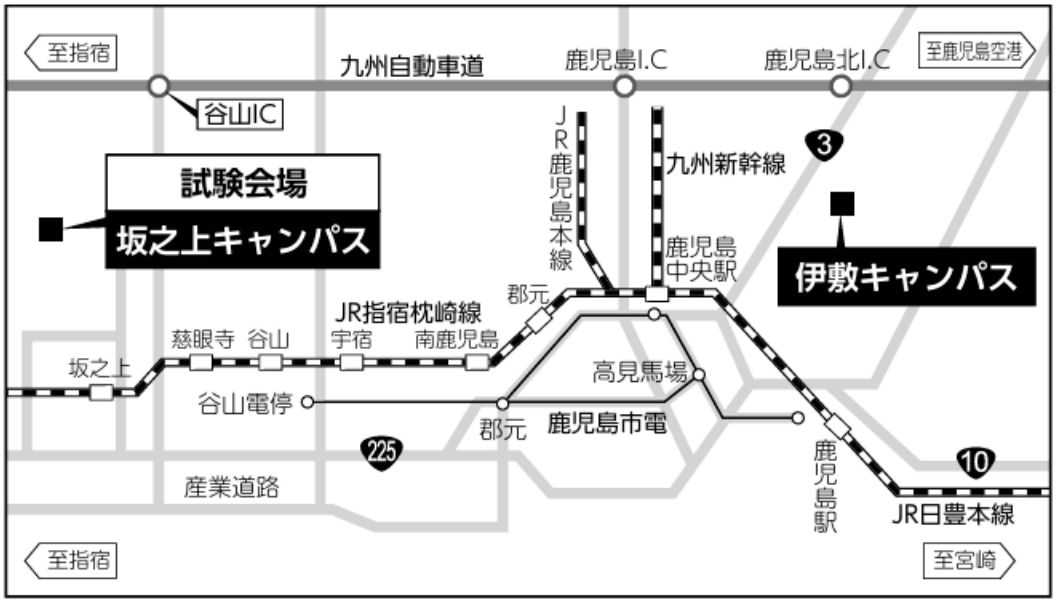
［開示請求期間］ 春季（４月）入学（前期・後期日程） 2027年４月１日（木）～４月９日（金）〔必着〕

（窓口受付 平日９：00～16：30）

入学試験にかかわる個人情報の取扱いについて

受験生のみなさんの個人情報については、入学試験の出願から実施及び合格発表、学籍発生までの入学手続きならびに本学における学生生活を開始するにあたり、本学が必要と判断した情報を提供する目的に利用します。また、個人を特定しない形で統計的な調査に使用する場合があります。

入学試験に伴い知り得た個人情報は、本学の個人情報保護に関する取扱い（利用目的）以外には利用いたしません。また、法令に基づき、入試・広報課にて厳重に管理します



［試験会場　坂之上キャンパス］

● ＪＲ九州　鹿児島中央駅から指宿・枕崎線「喜入・山川又は枕崎行」で坂之上駅下車、スクールバス運行（無料）５分。

● 鹿児島交通バス　金生町発「平川動物園行」又は「指宿・枕崎行」で坂之上南バス停下車、スクールバス運行（無料）５分。
金生町発「国際大学・慈眼寺団地行」で国際大学前バス停下車、徒歩１分。

知を学び、地に活かす。

鹿児島国際大学

経済学研究科／地域経済政策専攻　博士前期課程(修士課程)
経済学研究科／地域経済政策専攻　博士後期課程
福祉社会学研究科／社会福祉学専攻　博士前期課程(修士課程)
福祉社会学研究科／社会福祉学専攻　博士後期課程
国際文化研究科／国際文化専攻　博士前期課程(修士課程)
国際文化研究科／国際文化専攻　博士後期課程

※経済学研究科、福祉社会学研究科、国際文化研究科の入学試験については、別途「2026(令和８)年度秋季(10月)入学　2027(令和９)年度春季(４月)入学　入学試験要項」をご参照ください。

〈入試についてのお問い合わせ先〉

〒891-0197
鹿児島市坂之上8-34-1
鹿児島国際大学入試・広報課
TEL　099-261-3211（代表）
FAX　099-261-3299（代表）